

第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム 西太平洋地域におけるSDGs達成に向けた母子栄養施策の重要性

日時: 平成30年2月21日(水) 13:30~17:00
会場: 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
共用第一会議室 (東京都新宿区戸山1-23-1)
主催: 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
(栄養と身体活動に関するWHO協力センター)
後援(予定): 厚生労働省、公益社団法人日本栄養士会、
特定非営利活動法人日本栄養改善学会



シンポジウムの概要

1920年(大正9年)に設立された国立健康・栄養研究所は世界で最も歴史のある国立の栄養研究所であり、社会におけるニーズに応えるための栄養学研究を目指して国内のみならず、国際社会、特にアジア地域における健康および栄養上の問題解決につながる貢献を積極的に果たすことを目指しています。

当研究所が主催する国際シンポジウム「アジア栄養ネットワークシンポジウム」は、平成15年度以来隔年で開催しています。2004年1月に開催した第1回シンポジウム「生活習慣病を視野に入れた母子栄養について」に続いて、毎回異なるテーマにて6回のシンポジウムを開催してきました。前回の第7回シンポジウムは、2016年3月23日に「学童の肥満予防のための施策」をテーマとして開催し、WHO及びアジア太平洋地域各国より招へいた当該分野の専門家とともに学術的な討議と活発な意見交換を行いました。

2015年9月25日から27日に開催された国連持続可能な開発サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するための重要な指針として持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)が設定され、17の目標と169のターゲットを掲げています。このうち、目標2「飢餓をゼロに」、目標3「すべての人に健康と福祉を」において初めて「栄養」という言葉が指標に示されたことが画期的な特徴となっています。

「栄養と身体活動に関するWHO協力センター」として、当研究所は西太平洋地域各国に対してWHOが掲げる栄養とNCDsに関する地域戦略および行動計画実施のための技術支援を行っています。このような状況の下、第8回アジア栄養ネットワークシンポジウムでは「西太平洋地域におけるSDGs達成に向けた母子栄養施策の重要性」をテーマとして取り上げ、WHO及び西太平洋地域各国の現状と今後の方向性について議論を深め、相互交流を図ることを目的としています。

プログラム

13:30 開会の挨拶【*理事兼所長 阿部圭一】

13:40 シンポジウム

【座長:*国際栄養情報センター長 西 信雄
WHO 西太平洋地域事務局 Dr. Juliawati Untoro】

基調講演「西太平洋地域における母子栄養改善のための地域戦略および行動計画」

【WHO 西太平洋地域事務局 Dr. Juliawati Untoro】

カントリーレポート

1. マレーシアにおける母子栄養施策

【マレーシア保健省 栄養課長 Mdm Zalma Abdul Razak】

2. 香港における母子栄養～現状と今後の方向性

【香港栄養学会 会長 Mr. Gordon Cheung】

3. ラオスにおける栄養改善に向けたマルチセクトラルな取組

【ラオス保健省国立栄養センター 所長 Dr. Chandavone Phoxay】

15:10~15:30 ブレイク

4. フィジーにおけるSDGs達成に向けた母子栄養施策の重要性

【フィジー保健医療サービス省ウェルネスセンター
国家食・栄養アドバイザー代理 Ms. Maca Temoirokomalani】

5. 日本における母子栄養施策および取り組み

【国立保健医療科学院生涯健康研究部
上席主任研究官 石川みどり】

16:10 総合討論

16:50 閉会の挨拶【*研究企画評価主幹 福田 光】

*当研究所関係者

シンポジウム事務局

国際栄養情報センター 国際栄養研究室 三好美紀

FAX: 03-5287-3404 E-mail: mikimiy@nibiohn.o.jp

送信先： 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所（シンポジウム事務局直通 FAX: 03-5287-3404）

平成 30 年 月 日

第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム 参加申込書

ふりがな 氏名	
住所 所属先 もしくは 自宅	(どちらかに○をつけてください) 所属先 自宅 〒
電話番号	
FAX 番号	
E-mail	
所属先	(大学、研究所、行政機関、会社など)
所属部署	
職業	研究者 栄養士 大学関係者 行政官 学生 その他 ()
参加人数	

【参加申し込み方法】

本シンポジウムはラウンドテーブル形式にて行います（使用言語：英語、同時通訳なし）。
オブザーバー参加を希望される方は、平成 30 年 2 月 19 日（月）までに上記の申込用紙を
FAX にて国際栄養研究室あてにお送りいただくか、担当（三好）宛てメールにて上記参加
申込書内の項目をお知らせください。

問合せ先：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所
国際栄養研究室 担当：三好 (mikimiy@nibiohn.go.jp)